

秋田県横手市
活用実践集



- ・ 実践例①：吉田小学校
授業支援機能、いろいろカード帳、手書きexの活用
- ・ 実践例②：浅舞小学校
課題出題、コミュニケーション、プリント教材、解説教材の活用
- ・ 実践例③：平鹿中学校
確認テスト、高校入試過去問データベースの活用
- ・ 保護者の声



授業支援機能、いろいろカード帳、手書きexの活用

小学校
3年 算数

実践者 古館 幸 先生

単元：小数 課題：2.8はどのような数と言えるだろうか。

「2.8を、どのように説明しますか？」という先生の問いかけから授業がスタート。児童は既習事項を思い出しながら考え、やがて「小数第一位!」「数直線を使う!」とキーワードが上がり始めます。ほかに「図、言葉、式、不等号」など複数出たところで、キーワードを使って「どのように説明するか」各自、考えをノートに書いていきます。

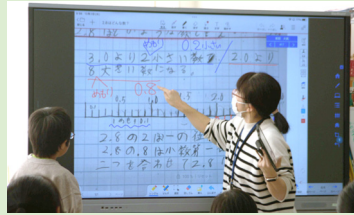
授業の流れ



本時の課題について、各自で考えを書く



タブレットで撮影し、授業支援ソフトで送る



考え方を全員と共有しながら比較する



授業支援機能で本時の内容の理解度を確かめる

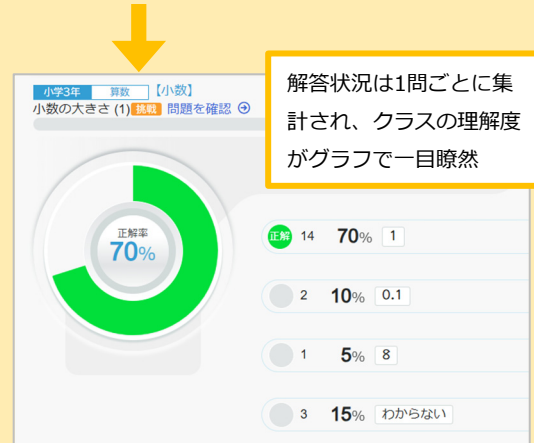
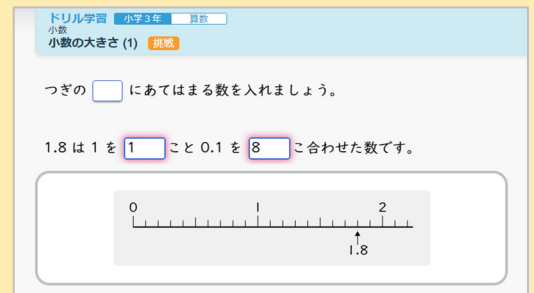
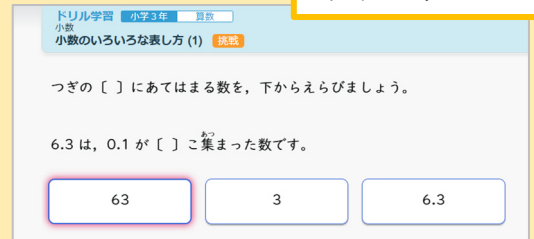
全員のノートをモニタに映し、先生は児童の様々な考え、説明の仕方を比較し、つなげながら、「2.8」をいろいろな方法で表していきます。

終盤、「今日やったことを使って問題にチャレンジしよう」と先生が声を掛け、「授業支援機能」で確かめ問題を出題。さらに「問題文をしっかりと読んで、早く解こうじゃなく、正しく解こうだよ」と伝えます。

3問終わると児童から「みんな、全問正解した?」との声。まわりの結果が、気になるようでした。

先生のおすすめ「授業支援機能」

確かめ問題を出題する(10問まで)



※集計結果はサンプルです。

理解度の把握とフォローに

授業の理解度を確かめる問題を「授業支援機能」で出題しています。

プリント配布や丸付けの時間が不要な分、短時間で実施でき、しかも「誰ができた、できなかった、どんな間違いをした」が全員分、その場でわかります。目の前で「簡単だ!」と言っている児童が、手元の集計画面を見ると実は間違っている、と即座に気付く、必要なフォローができます。



3年担任 古館 幸 先生

○、×の結果がその場で分かることは児童にとっても良く、楽しみながら問題に挑戦しています。

ラインズeライブラリには、児童が自分で教材を探す入口もあるので「もっと知りたいところ」「苦手を克服したいところ」など、自らの絞ってチャレンジする使い方もしていきたいと考えています。



デジタルならではの良さを生かす

「いろいろカード帳」をモニタに提示し、フラッシュカードとして活用しており、**カードを自作する時間と授業前の準備時間が削減できる**点が助かっています。

カードがパッパッとテンポよく再生され、しかもシャッフル再生、リズム音の演出といった、**手製教材ではできない機能がついている**点も魅力です。

また、児童のタブレットで自分でも再生できるので、操作をすぐに覚え、楽しみながら学習しています。

そして、単元に沿って漢字学習ができる「手書きex」は、筆順、画数、はねを判定してくれ、ノートに書いて学習するときとは別の良さがあります。



2年担任
佐々木 義仁 先生

先生のおすすめ

古館先生、佐々木先生に、おすすめの教材を教えてくださいました。

いろいろカード帳

フラッシュカードや、図、イラスト、写真が豊富な資料集として、クイズ形式のカードも

画面最大化

メニュー→
シャッフル
自動再生
リズム音
など設定可

画面最大化

メニュー→
シャッフル
自動再生
リズム音
など設定可

故事成語

県庁所在地

九九

手書きex

教科書に沿って新出漢字の練習、二字熟語書き取り、計算問題も

教科書単元に対応

【利用場面例】

- ・ 自宅での自主学習に
- ・ 授業の隙間時間に
- ・ 漢字テスト後の復習に



問いをもとに、自ら学びをデザインする児童に

ICT活用の効果の一例として、授業のタイムマネジメント向上があります。

今回の3年生の授業では、たくさんの友達の意見を見比べ、考え方を聞き、違いに気付いていました。このとき、考え方はアナログでノートに書き、ノートはデジタルで集約し、というようにハイブリッドで効率よく、短時間で行えていました。また、終盤の確かめの問題にラインズeライブラリを利用することで、**出題から結果集計まで短時間で、しかもクラス全員の理解度がその場で把握できていました**。これは、授業中、**児童が思考する時間の確保、教員の教材準備や児童へのフィードバックの時間短縮**という、複数の成果をもたらします。

さらに、児童には、自ら学びをデザインする力を身につけてもらいたいと考えています。例えばまっさらな自学ノートから始めると、どこから手をつければ良いか決めかねる児童もいます。そこでAI型ドリルの助けを借り、**客観的に示された自分の苦手とするところ、伸ばしたいところを見つけ、それをもって次にどう進むかを判断し、実行**していく。自己調整する力は、将来にわたって必要となるものです。



校長
長崎 晋 先生



課題出題、コミュニケーション、プリント教材、解説教材の活用

難易度別の多くの問題が児童を後押し



▲「先生からの指示」に「課題あり」と表示。

ラインズeライブラリには難易度別で多くのドリル問題があり、児童によって**個別に異なる学習ペースに対応しやすい**と感じています。

授業中、課題を終えた児童が時間を持て余すことがないように、「課題が終わった人からドリル」という流れを作っています。ドリルは、新しい単元に入るタイミングで、まとめて「指定教材学習」で出題しておく、児童がラインズeライブラリを開いたときに「課題あり」と表示してくれているので、分かりやすいです。

また、受け取る児童によってドリルの問題が変わる「自動個別課題」も、児童は積極的に取り組んでくれます。「基本」「標準」「挑戦」と分かれた難易度のうち、「挑戦」が自分の画面に表示されていると「私は挑戦問題ができると思われているんだ!」という**嬉しさが意欲を後押しする**ようです。

ラインズeライブラリには「課題出題」の機能が複数あり、それぞれの操作方法は難しくありません。児童もすぐに慣れ、「面白いからやりたい」と言ってくれるので、そのときのねらいに合わせて活用しています。



3年担任
大沼 実奈 先生

先生のおすすめ「課題出題」

自動個別課題 理解度に応じた問題を自動出題

使い方：課題出題へ>自動出題>教科>自動個別課題

※課題内容はサンプルです。

氏名	課題タイプ	合計 数	算数の教材				算数以外の教材			
			ドリル	基本	標準	挑戦	ドリル	基本	標準	挑戦
児童01	得意	8	0	0	0	8	0	0	0	0
児童02	苦手	8	3	5	0	0	0	0	0	0
児童03	弱点克服	8	2	4	0	0	2	0	0	0
児童04	苦手	8	3	5	0	0	0	0	0	0

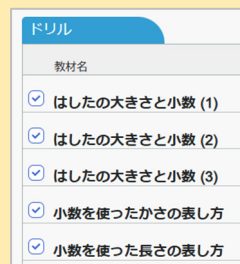
氏名	課題タイプ	合計 数	算数の教材				算数以外の教材			
			ドリル	基本	標準	挑戦	ドリル	基本	標準	挑戦
児童03	弱点克服	8	2	4	0	0	2	0	0	0

種類	学年	教科	教材	基本	標準	挑戦
ドリル	小学4年	算数	面積の単位の関係	●	○	○
ドリル	小学3年	算数	かさ・長さ・重さのたんしんのかんけい	○	○	○
解説	小学5年	算数	体積の公式	○	○	○
ドリル	小学5年	算数	体積の単位	○	○	○
ドリル	小学5年	算数	体積の計算	○	○	○
ドリル	小学5年	算数	立方体の体積	○	○	○
ドリル	小学5年	算数	立方体の体積	○	○	○
解説	小学5年	算数	体積の	○	○	○

弱点克服のための教材を、学年をまたいで抽出

指定教材学習 目的に合わせて教材指定

使い方：課題出題へ>任意出題>指定教材学習



ポイント①

単元に入る前にまとめて出題し、隙間時間を有効活用。予習範囲に進みたい児童は、チャレンジして良いことにしている。

ポイント②

既習範囲の理解度を見たいときは、教科書のページ数で絞って出題。



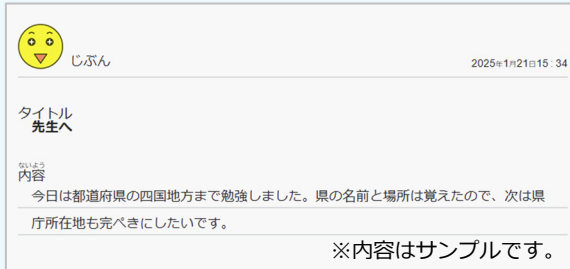
児童からの声

- (自動個別課題の内容を見て) 自分の得意、苦手が分かって良い。
- 忘れそうなところを復習している。
- 習ったことの意味がさらに深まった。
- 「基本」からやっているけど、難しい問題にも挑戦できるようになりたい。
- 問題を解くのが早くなった。
- 教科書の問題よりもタブレットの方が楽しいしやりやすい。
- 満点を取れるようになりたい、満点を取ってメダルを集めたい。



▲ コツコツ続け、メダルを9個並べたい!

コミュニケーションをきっかけに学習習慣を



長期休業中など、学校から離れた場所にいる児童の様子を知る手段の一つとして「コミュニケーション」機能を利用しています。

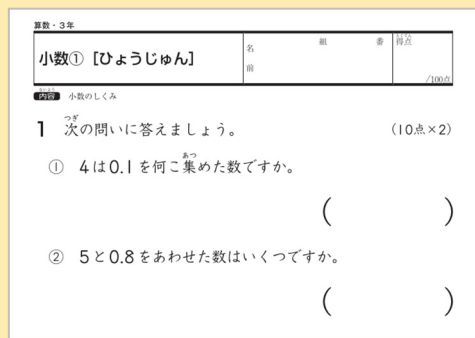
課題について質問を受けたり、学級閉鎖時には体調の変化を尋ねたりと、**タブレットがあれば児童と直接やり取りができるので便利です。**



まずは、タブレットを開いて見る習慣づけが必要です。そこで何気ないメッセージをこまごま送るようにしています。すると児童がそれを楽しみにタブレットを開き、返事を送ってくれるようになりました。**タブレットを開く習慣がつけば、その流れで学習に着手するきっかけになっています。**

先生のおすすめ「プリント教材」

大沼先生、大坂先生におすすめしていただきました。



▲ 単元別プリント

単元別、宿題、強化、思考力問題 から選べる！

- 単元別プリントは「教材検索」機能から、単元名または教科書ページ数で検索できる
- 解答プリントがセットになっている
- 宿題や週末課題に活用

- 印刷して
- 授業支援ソフトで配布して

諦めずに何度でもやり抜く力



何ができたか、何ができていないかを捉え、次に何をすべきか、自分なりの計画を立てて実行していける自己調整の力。学習面だけでなく様々な場面において必要となる力であり、学習活動を通して児童に身につけてほしい力です。

ラインズeライブラリは、**学習の成果が児童へ即座にフィードバックされる**点、フィードバックの内容が得意、苦手の把握などメタ認知に通ずる点で、自己調整力を身につける助けとなります。また、**繰り返しに適し、自分のペースで進められる**ことを生かして、児童には分かるまで諦めずに何度でもやり抜く力をつけてほしいと考えています。

ICTの助けを借りることは、教員にとってもメリットがあります。例えば形成プリントを多用すると、教員はどうしても丸付けや結果の集計に追われがちになります。そこでプリントを減らし、ラインズeライブラリを活用することで、**集計にかかる時間を削減しながら前述の即時フィードバックが実現できます。**



▲ 児童から見えるフィードバック

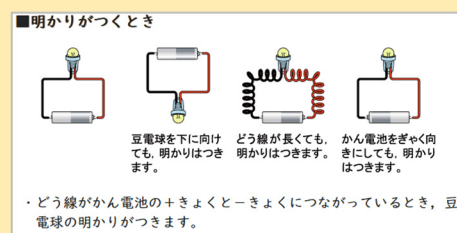
先生のおすすめ「解説教材」

使い方(児童)：自分で選ぶ> 単元学習

- 単元の中で「どこが大事か」に気付くヒントになる
- 自学ノートに書き写し、要点を身につける

- ・八百屋や肉屋などでは、品物をひつようなりようだけ買うことができます。また、売っているやさいや肉も新せんです。
- ・スーパーマーケットは、品物の数やしゆりが多いので、1か所いろいろな品物をたくさん買うことができます。
- ・大きなスーパーマーケットには、広いちゆう車場があるので、車で買い物に行くのにべんりです。
- ・駅の近くに多くの店がならぶ商店がいは、仕事で駅をりようする人の買い物にべんりです。店のしゆるいもたくさんあります。
- ・コンビニエンスストアは、朝早くから夜おそくまで開いているので、たいへんべんりです。

▲ 社会「買い物調べ」
キーワードが赤字で表記されている



▲ 理科「電気の通り道」
特徴が図とセットでまとまっている



確認テスト、高校入試過去問データベースの活用

2年生は定期テスト、3年生は実力テスト前の対策に「確認テスト」を活用しました。



間違えた問題をそのままにしない

「確認テスト」は採点后、生徒一人一人に復習教材がおすすめされるので、自然とドリルや解説教材の利用が増え、**授業の隙間時間などに自主的に取り組む姿や、友達と教え合う姿も見られます。**

また、教員同士でも使用感を話し合ったり、良い方法を伝え合ったりします。活用場面を、意識的に設定するようにもなりました。

効果的だと感じたのが、全ての問題についている「解答解説」です。「**なぜ間違えたのか**」を**その場で確かめられる**ところがとても良く、初めは理解が曖昧でも、間違えながらも問題を繰り返していくうち身につけていきます。



英語
菊池 雅美 先生

I often visit the zoo (like, because, I, animals).

like because I animals

解答解説

- ◆ because は「～なので」と理由を表す接続詞。
- ◆ because のあとには、主語、動詞などがそろった文の形が続く。前半の主語 (I) が because のあとでくり返されても省くことはできない。
- ◆ 英文は I often visit the zoo because I like animals. となる。
< 英文の訳 >
わたしは動物が好きなので、よく動物園に行きます。

▲ 解答解説

また、**間違えた問題をそのままにせず、解説を読み、思考しながら取り組む生徒がいるという気付き**にもなりました。

「確認テスト」を活用してみて、生徒自身が「単元ごとに自分の理解度を見られる」「進度が数値で客観的に把握でき、足りないところを認識できる」という点も実感できました。今後も、有効な学習ツールとして役立てていきたいと考えています。



目的に応じた絞り込みで効率よく学習

高校入試過去問データベース

絞り込み検索

部道府県 秋田県

年度 2025年度

教科 理科

難易度 すべて

傾向 すべて

解答形式 選択 記述 論述

大分類 出題頻度別

中分類 英・グラフの読み取り

小分類 すべて

単元検索

教科 理科

検索する単元を選んでください。

- 光と音
- 電磁
- 電流のはたつき
- 力と運動
- エネルギーと仕事
- 水溶液
- 物質の性質
- 物質の状態変化

▲ 高校入試過去問データベースは分類や単元で絞り込める。

範囲の広い実力テスト等に臨む前に、「確認テスト」でまず苦手箇所を発見することは、特に中位層から下位層の生徒には効果的です。「ここを忘れているから思い出したほうがいい」と自覚でき、**復習のためのドリルや解説教材は、下の学年のものも含めてライズeライブラリの中にまとまっており、効率よく復習ができます。**

また、3年生は**今、学習している単元が入試でどんな風に出題されるのか**が気になるところです。

高校入試過去問データベースでは、利用目的に合わせた絞り込みができるので、単元で絞れば授業の進度に合わせて利用でき、便利です。



理科
照井 和志 先生

先生のおすすめ「確認テスト」

単元の要点をまとめたプレテスト型教材。個々の結果に合わせて、復習教材に取り組める。

使い方：課題出題へ> 自動出題> 教科> テスト出題

確認テスト 中学2年 英語

Unit 2 接続詞

次の () 内の語を並べかえて正しい英文を完成させるとき、() 内で3番目になる語を下から選びなさい。

I often visit the zoo (like, because, I, animals).

I like because animals

2年「接続詞」では「whenの用法」「ifの用法」「becauseの用法」「thatの用法」で結果分析

学習内容	テスト結果	ドリル/解説	復習の必要
接続詞 when の用法	○	○	復習不要
接続詞 if の用法	×	×	未復習
接続詞 because の用法	×	×	未復習
接続詞 that の用法	○	○	復習不要

復習が必要な「becauseの用法」の教材を表示

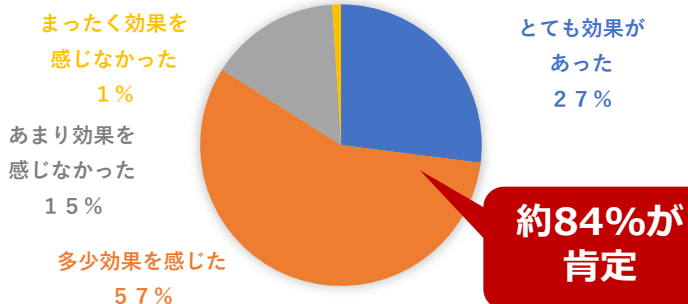
学習したい教材をえらんでください。

教材名

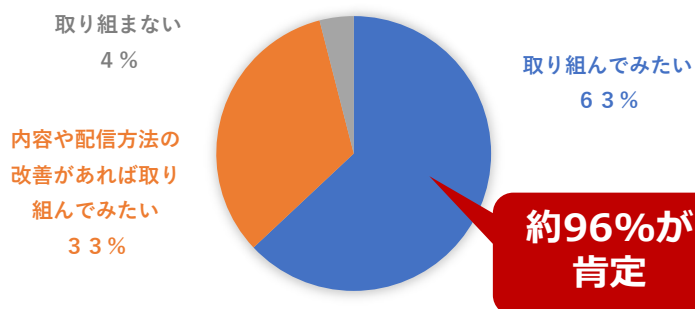
- 中学2年 英語 接続詞 because の用法 [ドリルに挑戦](#)
- 中学2年 英語 接続詞 because の用法 [解説教材を確認](#)

ライズeライブラリ 活用に関するアンケート

Q1:「確認テスト」は実力テストや定期テスト前の家庭学習において、効果があったと感じますか。



Q2:今後も「確認テスト」を継続して取り組んでみたいですか。



【アンケートのコメントより一部抜粋】

- ・確認テストをすることで、何が得意か不得意か知ることができた。
- ・繰り返し問題を解いたら分かるようになったところがあったので、学校の休み時間に自主的に学習するようになったし、家庭での学習時間も増えた。
- ・選択肢がある問題が多いので取り組みやすい。
- ・分からないところを調べる習慣が身についた。
- ・実力テストに向けてなるべく多くの問題を解きたかったから、このような取り組みを続けて、結果につなげたい。
- ・分からない問題を友達と一緒に考えるときにシェアしやすく便利。

9教科の豊富な教材を活用し、働き方改革にも



教頭
菊地 純 先生

ライズeライブラリのドリルは、ヒントや解説が豊富で、解答を選択肢から選べるという取り組みやすさが、学習に苦手意識をもつ生徒に、意識の壁を乗り越えて「やろう!」と向き合う動機となります。また、**9教科9学年分の教材がひとつにまとまっている点も、生徒にとってシンプルで使いやすい**と思います。

今回、テスト前の対策に取り入れたことで、学年全体でライズeライブラリの活用に取り組みました。活用してみれば、ドリル、入試過去問、解説教材など**バリエーション豊富な教材とそれを生かす検索、出題、集計機能がある**ことが分かりました。必要なものをうまく取り入れていき、教員の働き方改革にもつなげられます。

保護者の声

横手市内のA小学校、B中学校の保護者から

- 丸付けと採点が自動化されていて、子どもがその場で間違いに気付いて良いと思います。
- 「いろいろカード帳」で楽しそうに学習しています。かつて自分が利用した英単語帳をイメージしていましたが、実は単語だけでなくカードが豊富にあると知りました。
- 自分が興味のあるところを自分のペースで学習したい子どもにとっても向いています。自分で学習範囲を決められることで、興味は持続しますし、効率化にもなっています。
- テスト前に、範囲内で自分が分かっていないところをチェックするのに使っています。
- 間違った問題を解き直したり、苦手箇所の解説教材を自学ノートにまとめたりして、克服につなげています。タブレットでの学習と、自学ノートでの学習をうまく並行し使っています。
- 個人で契約していた教材を、ライズeライブラリに置き換えて学習させるようになり、教材費用の負担がなくなりました。
- (中学校) 他県のものも含めて公立高校の過去問が使えるところが良く、個人で買わなくてもたくさんの問題にチャレンジできます。

LINES
学ぶチカラを、未来のチカラに